

指導のねらい

判断の理由を説明するために必要な事柄を考えられるようにする。

課題の見られた問題の概要と結果

B 5 (2) 割引券を使うと値引きされる金額が最も大きくなる商品を選び、そのわけを書く。 正答率17.4%
 (「ウ(くつ)」を選べた児童は、78.0%)

学習指導要領における領域・内容

〔第5学年〕 D 数量関係

(2) 百分率の意味について理解し、それをを用いることができるようにする。

授業アイデア例

※ 算数の問題B 5 (2)を提示する。

花子さんは、次のような説明を書きました。説明の仕方を見ましょう。

【花子さんが書いた説明】

値引きされる金額を計算すると、
 (シャツ) $1900 \times 0.2 = 380$ 380円
 (ズボン) $3900 \times 0.2 = 780$ 780円
 (くつ) $5800 \times 0.2 = 1160$ 1160円
 値引きされる金額は、くつがいちばん大きい。

値引きされる金額を全部書いて説明しています。



このように、比べる数をすべて示してわけを説明する方法もあります。

《主な学習内容・活動》

- 比べる数をすべて示して、理由を説明する仕方を確認する。
- 割合の考えを基にして、言葉による理由の説明を考える。

くつに割引券を使うと、値引きされる金額がいちばん大きくなるわけを、値引きされる金額を求めないで言葉で説明しましょう。

くつは、定価がいちばん高いからです。



どうして、定価がいちばん高いと、値引きされる金額が大きくなるのですか。



【板書の例】

	(定価)	(値引きの割合)	(値引きされる金額)
(シャツ)〈安い〉	1900	× 0.2	= 380 〈小〉
(ズボン) ↓	3900	× 0.2	= 780 ↓
(くつ)〈高い〉	5800	× 0.2	= 1160 〈大〉
		同じ	
	定価	× 0.2	= 値引きされる金額

くつに割引券を使うと、値引きされる金額が1160円でいちばん大きくなる
 (くつの定価が高い) (くつの値引きされる金額が大きい)

↑ ↓
 定価が高いほど、値引きされる金額は大きくなる

商品の個数が変わっても、商品の定価が変わってもいえること

値引きされる金額は、(定価)×(値引きの割合)で求められるからです。



値引きの割合は、どの商品も20%で同じなので、値引きされる金額は、どの商品も(定価)×0.2で求められるからです。



だから、定価が高ければ、値引きされる金額が大きくなるのですね。このことは商品の個数や定価が変わってもいえますね。

【板書のポイント】

定価が高いほど値引きされる金額が大きくなることを、図に表したり、3つの商品の値引きされる金額と関係付けて表したりして、説明のために必要な事柄を児童が理解できるようにする。
 (平成22年度全国学力・学習状況調査【小学校】報告書B 5 (2)参照)

- 発言を基にして、理由を説明するために必要な事柄を整理してノートに書く。

計算しなくても言葉で説明できるんですね。



くつに割引券を使うと、値引きされる金額がいちばん大きくなるわけを、言葉で整理してノートに書きましょう。

【ノートの例】

くつに割引券を使うと、値引きされる金額がいちばん大きくなるわけ

- 値引きされる金額は、(定価)×(値引きの割合)で求められる。
- 値引きの割合は、どの商品も20%で同じ。
- 定価が高いほど、値引きされる金額は大きくなる。
- 3つの商品の中では、くつの定価がいちばん高い。

↓
 だから、くつに割引券を使うと、値引きされる金額がいちばん大きくなる。

留意点

- 児童の発言などをうまく取り上げ、工夫して板書することで、説明のために必要な事柄を理解できるようにする。
- 計算結果を示して説明する場合、計算結果を示さずに言葉で説明する場合のそれぞれに必要な事柄を明らかにする。